会議録

会議の名称		令和2年度 第5回加西市総合政策審議会
開催日	時	令和2年9月28日(月)午前9時30分~12時00分
開催場	所	加西市健康福祉会館(ラヴィかさい) 1 階大会議室(ホール)

議長の氏名 (会長 杉山 武志)

出席及び欠席委員の氏名

<出席委員>

- ・大野 聖佳 ・木下 勇 ・久米澤 稔 ・後藤 直樹 ・杉山 武志
- ・高見 千里 ・谷勝 公代 ・辻田 聡信 ・中野 重美 ・仁科 崇良
- ・濱本 泰秀 ・松岡 勝己

<欠席委員>

・上田尾 真 ・岡 和司 ・岸本 達希

傍聴者の人数

一般:1名 報道機関:なし

出席した事務局職員の氏名及びその職名

- ・ふるさと創造部長 千石 剛
- ・ふるさと創造部人口増政策課長 藤後 靖
- ・ふるさと創造部人口増政策課課長補佐 後藤 伸嘉
- ・ふるさと創造部人口増政策課係長 森山 俊幸
- ・ふるさと創造部人口増政策課係長 岩野 裕之
- ・ふるさと創造部人口増政策課主事 大西 弘晃
- ・ふるさと創造部人口増政策課まちづくり推進員 小山 映

1 議事

- (1) 第4回加西市総合政策審議会の意見・提案に対する対応
- (2) 部会による基本計画(基本方針1・2・3)の検討
- 2 会議資料

会議次第、出席者名簿、配席図

資料1 基本計画案(基本方針4)

資料2 加西市総合政策審議会の意見・提案への対応

資料3 基本計画案(基本方針1・2・3)

資料 4 参考資料 (現行総合計画・地域創生戦略の施策一覧)

3 会議の経過

⇒別紙「第5回加西市総合政策審議会の経過」のとおり

発言者	回加四市総合政東番議会の経過
/U H H	A RA 111 A2 / /1 11 11 11
会長	開会 1 会長あいさつ ・5回目の今日の審議会は午前中の早い時間となり、参加いただいたことにお礼申し上げる。 ・今回を含めてあと3回となったが、本日は部会に分かれて各施策の審議を予定してい
	るので、部会長のもと議論をよろしくお願いする。 2 委員等出席者の紹介
会長副会長	3 議事 (1)第4回加西市総合政策審議会の意見・提案に対する対応 (事務局から説明) ・基本的なところでお気づきのご意見・ご質問はあるか。 ・国の流れを見てもデジタル化が進んでおり、総合計画案に折り込まれてはいるものの、横串しになるものとしてもっとメッセージを前面に出せないか。県の副知事が先日デジタル化で話されたことだが、ひょうご情報ハイウェイのアクセスポイントは、加古川、社、西脇にあるようで加西にはない。交通や情報のインフラは未来のために重要でアピールしていくためにも、高速情報インフラ整備の推進を図るべきである。
会長 事務局	 ・コロナ禍においても、田舎だが便利だというメッセージを出して施策に反映して盛り上げていっていただくようお願いする。 ・今は激変期であり、情報インフラを大切して具体的に取組んでいくべきだと考える。 ・AI、ICTについては、基本構想・基本計画でもコロナ対応と共に記載しているが、国でも新しいデジタル庁の動きがあり、自治体として対応できる施策を考えていくためによったに検討していまた。
副会長	にもさらに検討していきたい。 ・基本構想にある将来都市像の「大空に夢がふくらむ」に加えて、世界につながる意味で「つながる」いう言葉をいれることはできないか。交通インフラや情報インフラのつながっていくことに結び付けていくことができると思う。
会長 事務局	・将来都市像は去年もいろいろ議論があったところである。・昨年度の市民会議やワークショップ等でご意見をいただいてきた経緯があるので、将来都市像はこのままとし、さらに取組みの中で進められるよう検討したい。
委員	・計画の推進にあたっては、最終年度に向けていつまでに何をどのようにやるのか年度計画を明確にすべきだと思う。
事務局	・総合計画の基本構想は10年、基本計画は5年という構成であるが、実施計画として3か年 計画を今後まとめることとしている。基本計画は10年間を見据えた性格のものなので、 全体を網羅することになるため道路の整備にしてもわかりにくいところがあると思う。
委員 事務局	・いつまでに何を実現するのかがわかりにくい。 ・総合計画は全体計画であるため具体的には明示していないが、個別の事業については、 例えば道路整備の路線の目標年次等を今後出していく。
会長	・基本計画は10年間でその時々に対応できないことがないように、ある程度漠然としたものにしておかないといけない面があり、個別の事業につながる課題が整理されているとよいと思う。 ・加西市の場合、評価検証は5年毎というわけではなく毎年第3者による評価を行って計画
副会長	を更新していく形をとっており、かなり手厚いものとなっている。 ・市民ができることに項目名は変更されたが、施策11の「市民が情報を収集し」は、強制している印象を与える言い方である。項目名だけでなく中身も上から目線でない「関心を持ち」といった押し付けでない表現にするように注意を払ってほしい。
事務局副会長	・再度確認し修正する。 ・小規模多機能自治は、難しい表現で一般的な言い方が望ましい。下の語句説明に「概ね ・小学校区域」とあるが、それでよいのか。
会長	・小規模多機能自治は、国としても政策方針として出しているもので、兵庫県でも進めているところである。
副会長	・これからの学区再編のことを考えると、小規模多機能自治が小学校区を基本にするのはよいのか。
会長	・他市町では小学校が統合され閉鎖されている例はあるが、加西市でも何年か先に考えて いく必要はあるかもしれない。

事務局

- ・小中学校の学級減に伴う学校のあり方については別途検討を進めるが、仮に学校統合の 話があったとしても、まちづくりの単位として今の小学校区を基本に考えていくものな ので旧小学校区とみなして、まちづくりの話はしていくことになる。
- ・統廃合しても残った学校を核にして旧小学校単位でまちづくりを進めている自治体はた くさんある。

副会長会長

- ・小学校だけでなく、中学校も統合しないと維持できなくなってきていると思う。
- ・校区の再編で学校がなくなるとまちづくりの求心力がなくなる面がある。加西市はまだ穏やかな方だが、今のうちに考えておくことが大事で計画に盛り込むのは難しいが検討してほしい。施策13のところはこれでよいか。

副会長会長

- ・行政の効率化はデジタル化、ICTがキーである。
- ・次回は全体的なまとめの話となるが、コロナ対策を進める中で、働き方についはどうか。

副会長

- ・施策12の市民ができることに「外国人住民と積極的に関わりを持つ」とあり、互いに認め合う視点が重要だが、これは外国人に限らずもう少し広い言い方にしてはどうか。
- 会長 委員
- ・大切なポイントだと考える。
- ・施策13について、「テレワークの推進とともにWEB会議等も活用」とあるが、このような審議会もリモート会議にしてもう少し時間をとって議論する工夫ができればと思う。
- 会長
- ・是非実現していただきたい点である。
- ・総合計画には、こういう風にすべきという新しい動きを盛り込んでおくと新しい流れが 生まれるものなので、その意味で今はチャンスである。

委員

・行政と市民の関で行政批判はよくあるが、両者の間に溝があると思われ、どうやって溝を埋めるかである。目安箱のような市に対する期待や疑問を伝えるものが必要で、また 行政の考えを市民に説明して理解してもらう機会、説明の場をもっとつくるべきである。

事務局

・市民提案制度等の広聴のしくみが目安箱のようなもので、この制度があることをご存じでない方が多いかもしれない。タウンミーティングも広く皆様の意見を聞く機会の場であるが、いずれにしてもPRが欠かせないものと考える。

委員

・市民提案の広報だけでなく、そこで拾い上げた意見や提案を広報に載せるなどして、市 民との意思疎通を見えるようにすべきである。

副会長事務局

- ・市民提案の件数はどれぐらいあるか。
- ・ふれあい提案として月数件程度あるほか、ホームページでも数件程度受け付けており、 住所・氏名が分かる限り必ず回答を出している。

(2) 基本計画案(基本方針1・2・3)の検討

部会での進め方を事務局より説明。

3部会に分かれて検討した結果のまとめは、後で寄せられた他の部会担当分への意 見等も含めて、事務局で整理のうえ委員に送付。

加西市総合政策審議会の意見・提案の一覧表の各欄の記載内容参照 ※別途後日、第6回会議の議論と合わせて公表予定

<副会長あいさつ>

副会長

- ・今回は朝からの会議となり、新しい雰囲気の中でいろいろな意見が多く出たので事務 局は整理が大変かもしれないがよろしくお願いする。
- ・総合計画を是非、コロナをきっかけとした新しい時代の流れに合ったものにできれば と願っているので、引き続き委員の皆様のご協力をお願い申し上げる。